新宿区立淀橋第四小学校　「笑顔いっぱい地域淀四（チーム）」　平成２７年３月２３日

学校運営協議会だより

第１１号

＜志岐代表あいさつ＞

委員の皆さん、今年度の協働学校へのご協力、ありがとうございました。来年度も続けていただける方も、今年度でお辞めになる方も、今までと変わらず、地域の一人として、未来ある子どもたちの為に、いろいろな場面で関わっていって欲しいと思います。

明るい笑顔が広がる淀四地域の継続に、皆さんのご協力を今後とも宜しくお願いいたします。

平成２７年３月５日（木）

第１０回運営協議会　次第

１） 志岐代表あいさつ
２） 権田校長あいさつ　-～特別支援学級について～
３） 通学路における防犯カメラの設置について
４） 予算執行について
５） 未来クラブの来年度の更新について
６） ３年生総合的な学習時間のまとめについて
７） 来年度事務局交代について
８） 活動報告

＜議題＞について

※次回４月９日（木）１５：３０から

２．＜権田校長よりあいさつ＞

みなさん、こんにちは。いつもありがとうございます。学校の方では、６年生を送る会、祝う会、卒業式の準備と進める中で６年生は卒業するにあたって、心の準備も着々と進めているところです。６年生の卒業で小学校生活最後の有終の美を飾れるように、また、他学年は２６年度の有終の美が飾れるように教職員一同、支援していきたいと思っています。学校に来る日は、あと１５日になっています。淀四小の子どもたちが来年度に向けて、今日も放送委員会が５年・６年生にインタビューをしていたのですが５年生は来年度はかっこいいお手本になれるようにがんばりたいと話していました。５・６年生は進級に向けて胸を膨らませているところです。よい２７年度が迎えらるようにまとめていきたいと思います。

協働学校としては、本格実施１年目ということで皆さまにお力いただきまして、ありがとうございました。昨年度から準備校として、着々と準備してきたことが今年、形となって、様々な活動ができました。今年は、研究発表を行いましたが今後、この地域協働学校というものはずっと続いていくので人が変わっても無理なく、継続して淀四小の「歴史である、伝統である」を残せていけたらよいと思っています。今年、委員を務めていただきました皆さま、ありがとうございました。また、来年度、４月から新しく発足いたしますがお力添えいただけますよう宜しくお願いいたします。

―特別支援学級について―

東京都全体のプロジェクトで各学校に特別支援教室を置いて子どもたち、一人一人にあった教育を進めていこうという事業が進められています。新宿区でもこの事業が進められていきますのでそれについて概要だけお話していきます。（プロジェクターを視聴する）

平成１８年度までは特殊教育と呼ばれていました。東京都では心身障害教育という名称が使われていました。一人一人の障害の種類や程度に応じた指導に重点が置かれるものでした。

平成１９年度から特別支援教育に変わり、平成２６年度全面実施、８年目を迎えています。

特別支援教育の理念とは、平成１９年の４月、文部科学省の通知により、３点示されました。

①教育的なニーズを把握し、適切な指導・支援を行う。生活や学習上の困難を改善するまたは、克服するために適切な指導及び支援を行うことが示されています。

②発達障害が新たに指導の対象になりました。これまでの特殊教育だけではなくて知的な遅れのない発達障害も含めて、全ての学校において実施することが示されています。

③障害の有無など個々の違いを認識するということです。障害のある子への教育にとどまらず、障害の有無など個々の違いを認識して様々な人々が活躍できる「共生社会」形成の基盤となることが示されています。

この特別支援教育の理念は我が国の現在及び、将来に社会にとって必要な意味を持つことです。

＜特別支援教育の対象となる幼児・児童＞

これまでの特殊教育の対象に加えて、新たに、ＬＤ（学習障害）、ＡＤＨＤ（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症、知的の遅れのない発達障害の児童も特別支援教育の対象となります。

従来の特殊教育では、視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱及び言語障害・情緒障害などがありました。盲学校・聾学校、通級指導が行われていました。通常の学級で、ＬＤ、ＡＤＨＤ、高機能自閉症、等教育も行っていました。特別支援教育ということで統括的に一人一人のニーズにあった指導をしていく形になったということです。

特別支援教育では一人一人に合った丁寧な支援を行うために障害のある子が地域社会の一員として豊かに生きていくために交流及び、共同学習を実施するということになりました。すべての学校に特別支援教室を設置し、３～４校で１つのブロックを形成して、１校が拠点校となり、拠点校に教員を配置しブロック内の巡回指導をおこなっていきます。在籍校の中で個別指導を受けることとなりきめ細やかな支援体制が実現できるものと考えています。これが指導と支援の一層の充実を目指すことになるであろうと期待されます。。

これまで、区内の通級指導学級は天神小・戸塚第二小・落合第一小に通い、週１回程度個別指導を受けています。これからは特別支援教室を全校に設置して拠点校の教員が巡回による指導を行なうことに変わっていきます。在籍校も特別支援教室で個別の指導を行い、必要に応じて、小集団指導を行なっていきます。平成２７年度に新たに、鶴巻小と四谷第六小が通級指導学級を開設し、特別支援教室のモデル実施をおこないます。牛込地区では鶴巻小を拠点とした、江戸川小、早稲田小の三校で巡回による指導をしていきます。同様に四谷地区でも四谷第六小を拠点として、四谷小、花園小で巡回による指導を行います。平成２８年度には区内全小学校に特別支援教室を設置し、新宿区全体が指導に移行していきます。淀橋第四小は淀橋地区でありますが隣の戸山小、西戸山小などとブロックが組まれるかもしれません。本校には教室の余裕がないので相談室として使っている教室に空調の設備を整えて、特別支援教室として使えないか検討中です。１人でも多くの支援を必要としている子どもたちが支援を受けられるように考えています。

３．通学路における防犯カメラの設置について（明石副校長より）
新宿区の政策で各学校の通学路に防犯カメラを設置してくれる話がでています。２月～３月調査が行われました。実際の設置は平成２９年度に予定されています。

４．今年度予算執行について（山口より）今年度予算執行状況表参照
今年度は締切りを１月にしましたが１２月にしていただけるとよりよく残金との修正ができます。

５．未来クラブの来年度の更新について
・毎年、未来クラブ手続きには記入をして、提出してもらいます。

６．３年生総合的な学習時間のまとめについて（久保田教諭より）
３年生学習で町探検２回、話し合い活動１回、交流会１回で地域の方にお世話になりました。学びのサポートの方で連携して学習したまとめを子どもの振り返りカードからひろいまとめました。子どもは地域をもっと好きになり、もっとすてきな地域にしようと頑張っている姿が見えました。

７．来年度の事務局の紹介
吉住裕子さん・荻野一恵さん、宜しくお願い致します。

８．活動報告
＜みどりのサポート・河内より＞校庭花壇の世話（水やり・花がら摘み・剪定）
屋上バケツ稲・田んぼ・芝生の世話
＜読書サポート・永山より＞朝の読み聞かせ・図書室環境作り・入学前プログラム

＜議題＞
①担当サポートの見直しについて
学びのサポート担当にて石﨑さん、退任につきまして、永山さんに来年度、学びのサポートに変わってもらうかを新ＰＴＡ会長含み、来年度の運営協議会にて確認すること。

②地域協働学校あゆみ＜準備校＞、＜指定校＞資料について
訂正がある場合は、３月中にご連絡ください。訂正がありましたら４月に再度、配付させていただきます。

③よどよんのきまりについて（久保田教諭より）
・年度当初は、保護者に配付して、共通理解していきたい。
・各やくそく・各きまりについて指導していきたいと思います。体育館遊びを追加しました。

④よどよんスタディーでの人員募集について（明石副校長より）
よどよんスタディーの講師は４名、原さん、南雲さん、和田さん、井上さん（退任）
任期は１年間、水曜日に１時間程度実施、夏休み中も５回ほど実施、年間２５回、場所はよどよんルーム
井上さんが退任するので今後、１名人員を募集したいと思います。

⑤地域の方で未来クラブに登録したいという方について（永山さん）
地域の方で未来クラブに登録したいという方がいますのでおすすめしたいと思います。

＜教育委員会　渡邊氏より＞
指定校での１年目の１年間、みなさまありがとうございました。特に、今回ご退任されます、石﨑さん、奈邉さん、田村さんお疲れさまでした。配布された「地域協働学校あゆみ＜準備校＞、＜指定校＞」は振り返り、引き継ぎにもなり素晴らしいなと思いました。この１年間、指定校になりまして、学校評価によく取り組んでいただきました。各サポートの方もそれぞれで活発な活動をしてもらいました。教育委員会の方で学校運営、学校評価、学校支援活動、指定校の３本柱として掲げていただき、それを皆さんのご協力で取り組んでいただいたなと思っています。研究発表も重なりまして、日程についてご無理があったかもしれませんが素晴らしい発表で、他の学校の参考になりました。学校運営協議会に子どもたちが参加している姿も他の協議会でも話されていました。学校評価のところが勉強になったという話しもあります。来年度から少し、落ち着いてから、継続した取り組みが教育委員会も引き続きサポートしていきたいと思いますので１年間、お疲れ様でした。来年度も宜しくお願します。

＜事務局より＞
奈邉：準備校・指定校の二年間、事務局をさせていただきました。子どもたちが地域の方々に大変お世話になっていることが分りました。これからはＰＴＡとして、地域の人として関わっていきたいと思います。ありがとうございました。

田村：活動は、主に運営協議会会議の準備と運営協議会だよりの発行でした。事務局に入って、地域の皆さんがどんなに淀四地域の子どもたちのために活動しているかがすごくよくわかりました。このことを、保護者の皆さん、子どもたちに運営協議会だよりを通して、伝えていければよかったと思います。お世話になりました皆さん、ありがとうございました。